地区広報
芸術の森
題字　平澤　博

第16号
平成22年３月30日
発行　地区広報・芸術の森
編集委員会
印刷　(株)辻　孔　版　社

まちづくりビジョンの実現と定着へ向けて

まちづくりセンターの自主運営を契機として

芸術の森地区町内会連合会　会長　**関　口　　明**

本年1月よりまちづくりセンターの自主運営が始まり前任者からの引継ぎも終盤に入りました。4月からは地域による単独運営となります。

これを契機として、まちづくりセンターの運営面の見直しと、今まで連町が実施してきた事業の今後の進め方等について検討していきたいと考えます。

◆まちづくりセンターの運営と利用に工夫を凝らします。

１月より所長以下３名の職員でスタートし、４月より地域で運営に当りますが、事務室や交流室「そらぬま」が狭く使いづらい面があり、何とか工夫をと考えています。

幸い職員の方々も今から前向きな検討を行っていますので、連休明け頃には新しい発想でスタートできるものと期待をしています。

◆まちづくりビジョンに沿った事業は永続性が大切

・町内会連合会設立当時からの事業

当地区のまちづくり事業の一部は、町内会連合会が設立された平成7年度より文化祭、運動会ならびにソフトボール大会、翌8年には音楽祭が開催され、その後、国道453のフラワーロードに花を咲かせる会が花を植栽し、開発局や市の支援で軌道に乗りました。

・地区ビジョン改訂前後からの事業

地区まちづくりビジョンは平成9年度に策定され、平成18年度に見直しを行い改訂されました。改訂後に行われた事業は、自然・景観分野では、シーニックバイウェイ事業の一環として雪あかりの祭典、福祉の分野では、子どもを見守るネットワーク、地区社会福祉協議会主催のもりの仲間の交流会、もりの仲間の子育てサロンなどが行われています。

・事業は継続性に意義

当地区は、前述のように古くから行われている伝統事業が数多くあり、何れの事業も始めるに当って成果が期待されます。

一般に新規事業には新鮮さと勢いがあり、伝統のあるものは切り捨てられがちですが、まちづくりは一朝一夕にして成せるものではなく、永い伝統の上に成り立っています。伝統事業を大切に・・と考えます。

◆市交付金の有効な活用には知恵を出し合って

自主運営に移行した場合のメリットのひとつに、地域で考えて行動に移す事業は、交付金の申請ができることです。これには、当地域のまちづくり事業をどのように展開していくか、皆さんで知恵を出し合って詰めて行きたいと思います。

以上、市交付金申請を念頭に置いて述べてきましたが、従来どおり町内会連合会予算があります。このほか簡易保険事業も先細りですが、後2～3年続ける予定でおりますので、今まで以上に財政基盤は充実します。これを生かして災害対策費の新設をはじめ継続事業の一層の充実、利用の多い印刷機使用の無料化も継続したいと考えています。

最後に、市職員の大江所長様をはじめ北本様、朝倉様、連町事務員の伊藤様には、大変お世話になりました。心より厚くお礼申し上げます。

福祉のまち推進活動の輪を広げよう

安心して暮らせる
まちづくりを目指して

芸術の森地区社会福祉協議会
会　長　**伊藤　　正**

本年度の当社会福祉協議会の各事業につきましては、ほぼ予定どおり進み、活動の推進にあたりましては、皆様方から格別のご協力を賜り、お礼を申し上げます。

特に、本年度は、会則改正等による活動体の「福祉のまち推進センター運営委員会」設置など、次の重点活動を掲げ、事業の推進を図りました。

（1）「福祉のまち推進センター運営の充実」

21年度「福祉のまち推進センター運営委員会」の発足と活動（別途掲載）

（2）「福祉推進委員会の組織化」については、「運営委員会」等での働きかけにより新たに、2町内会（常盤団地、アートパーク）で推進委員会が設置され、今後の活動が期待されます。

（3）民生委員児童委員、主任児童委員等との関わり

活動の推進には、地区の見守りに長い経験を有する民生委員児童委員等との関わりは欠かせないものと考えます。福祉推進委員会の立ち上げ時は勿論のこと、活動を遂行するに当たり、地区における同委員会への働きかけはより一層深くなると考えられます。相互理解を深めながら、事業の推進を図ります。

以上のほか、今後、地域の福まち活動は、各町内会との密接な協力体制が不可欠であり、特に町内会連合会福祉部との連携が最重要と考えられますので、相互に協議を図りながら各事業の推進に努める必要があると思われます。

また、22年度事業計画の策定につきましては、従来の事業を見直し、より良い事業の推進を図る所存でありますので、ご理解とご支援方をお願いいたします。

平成21年度、「福祉のまち推進センター・運営委員会」の発足と活動について

芸術の森地区社会福祉協議会 / 福祉のまち推進センター・運営委員会
運営委員長　**塩崎　典男**

芸術の森地区社会福祉協議会は、かねてより懸案となっていた、「福祉推進センター」の組織化と活動を開始するため、昨年春の総会で会則の改正を含む提案をし、承認をして頂きました。

福祉のまち推進センター運営委員会は、地区社会福祉協議会の理事5名と、14単位町内会の福祉組織代表14名で構成されています。

今年度の運営委員会の事業は、各単位町内会で福祉活動の専門組織である福祉推進委員会が組織されていない町内に対し、福祉推進組織の設置の促進を図り、町内の世帯数を勘案し設置できない町内へは福祉活動の推進援助を図るなどの事業を進めることとしました。

運営委員会は既に4回開催しておりますが、第一回目は、各町内における福祉組織の代表を運営委員として選任して頂き、第二回目には活動助成金を交付し、活動の促進を図ることとしました。

組織体制は発足したばかりであり、不十分でありますが次年度に向け少しでも前進できるよう更に会の充実を目指してゆきます。

運営委員会は、14のそれぞれの町内で、そこに住んでいる人同士が助け合って、安心・安全な生活ができるようにしていくため、活動の目標や、内容を検討し、具体的な活動を実践していく組織ですのでご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

芸術の森地区社会福祉協議会
福祉のまち推進センター運営委員会組織図

社会福祉協議会―調整・推進機能
福祉推進センター―運営委員会の活動母体
運営委員会―推進センターの実質的活動組織
役　　員　　5名（社会福祉協議会理事）
運営委員　　14名（各町内福祉代表）
（少数世帯町内会は町内会長）
役　　割―活動の目標や内容を検討し決定する
（今年度は組織化と運営委員の選定）

専門部	広報部	
	高齢者支援部	
	ふれあい支援部	
	子育て支援部	
	福祉推進部	
	石山東福祉推進委員会	六二五
	駒岡団地福祉推進委員会	一〇六
	常盤団地福祉推進委員会	四六八
	アートパーク福祉推進委員会	四二〇
	見晴町内会福祉組織代表	二九五
	常盤一区町内会福祉組織代表	七〇四
	サンブライト町内会福祉組織代表	四二五
	真駒内駒岡町内会福祉組織代表	八七
	石山八区町内会	四〇
	常盤台町内会	一〇
	常盤二区町内会	三五
	滝野町内会	三三
	真駒内二団町内会	一一
	真駒内三団町内会	一三

21年度の活動報告及び 22年度の抱負

芸術の森地区青少年育成委員会
会長　前口敦司

余寒厳しき折、地域の皆様方にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、21年度も無事に一年間の活動を終了できました。地域の皆様方には日頃育成委員会の活動にご理解とご協力頂いた賜物と厚く御礼申し上げます。

ここで、21年度の活動報告をさせて頂きます。

11／15（南区体育館）南区小学生スポーツ大会では、新型インフルエンザにより練習もままならない状況での出場で石山東小学校高学年の部で準優勝、低学年の部で三位と健闘しました。

12／13（常盤児童会館）交流もちつき大会では明け方の雨もあがり、250人ほどの動員数で大盛況のうちに終了しました。また地域の皆様方には道具をお借りしたり、具材の差し入れなど本当にありがとうございました。

1･16（藤野スキー場）小学生スキー教室では、天候も良く30名の子供達が元気にゲレンデでスキーの楽しさを満喫していました。最後はリフトに乗れなかった参加者も全員が乗り、自信をつけてスキー場を後にしました。

その他、対外活動として北海道青少年育成大会･森の仲間の三世代交流会･常盤神社祭りパトロール･南区育成全体研修会･芸術の森音楽祭･成人式など委員全員地域の活動に積極的に参加やお手伝いさせて頂きました。我々委員会は、子供或いは地域の方々と直接接し、子供達を取り巻く環境に気を配りながら啓発活動や心の豊かさを育てていくことを目指しています。

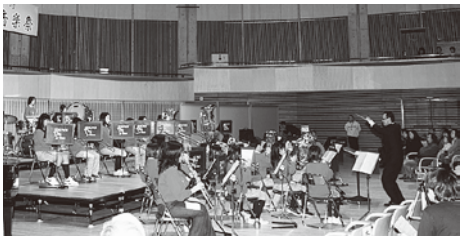
２２年度は、委員任期最後の年となりますが、少しでも我々の気持ちが伝わるよう努力します。

また、22年度末には新委員の選出も控えています。我々の活動に興味のある方、或いは子供達と一緒に活動してみたい方は是非ご一報下さい。本年度も頑張ります。

荘厳さと暖かさ
第14回芸術の森地区音楽祭　札幌芸術の森アートホールで開催

11月15日（日）、札幌芸術の森アートホールで芸術の森地区音楽祭が実施されました。平成８年に常盤中学校健全育成会主催の下「ふれあい音楽祭」の名称で学校体育館を会場に実施されたことに始まり、平成11年から芸術の森地区町内会連合会が加わり「芸術の森地区音楽祭」と改称し、また、平成16年からは札幌市芸術文化財団芸術の森が主催者に加わり継続基礎を固め、今年で14回目を迎えました。

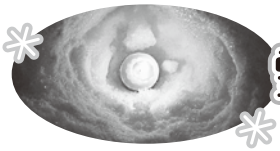
この日は前日まで降り続いていた雨もおさまり、冬の陽射しが差し込む好い天気となりました。日ごろより練習に励んでいる女性コーラス、民謡の仲間、ジャズバンド等々、日ごろの成果を存分に聞かせていただきました。また、この地域の３小学校の生徒による合唱や器楽演奏、中学校の合唱コンクール最優秀クラスによる学年毎の合唱は会場内に心温まる一体感をもたらします。まさに、この音楽祭ならではのものではないでしょうか。出演者370名、観客950名、ボランティア180名、総計1500名。



入所サービス
ショートステイ
みなさまの想いにおこたえいたします
通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
アートヒルズ
〒005-0849　札幌市南区石山837-47

0120 FreeDial　みんな しあわせ　365日　0120-348-365



芸術の森地区 雪あかりの祭典

各地域でのパワーに感動

凍てつく白い冬の季節を、綺麗で華やかなイルミネーションと手づくりのアイスキャンドルで飾るという、雪と楽しむ行事が終了しました。一町内会で行われていたもの

を、芸術の森地区全体の行事として発展させたのが、平成18年度に作成したまちづくりビジョンでした。今年で4回目を迎えます。

昨年12月中旬から今年2月中旬ごろまで、「ウエルカムロードイルミネーション事業」として、国道453号線沿いを６ｋｍにわたり光で道をつなぎました。

1月23日、関口美術館での点灯式を皮切りに、札幌市芸術の森、市立大学で恒例のもちつき大会やナイト・ミュージアム等が行われ、にぎわいました。

2月4日・5日は駒岡小学校にて、学校・地域ぐるみでの宿泊学習・野鳥のさえずりをきく学習や、もちつき大会等が行われました。

2月6日・7日は南老人福祉センター周辺の『雪明りの祭典・スノーフエスタ』でした。この行事のさきがけにふさわしく、手作りローソク・アイスキャンドル、雪像の仕上げの素晴らしには感動し、地域の底力を感じました。暖かい飲食のサービスもあり世代間の暖かさを十分に味わえたことでしょう。

2月11日は駒岡保養センターで『こまおか冬まつり』が開催され、この事業のフイナーレとなりました。

平成21年度 もりの仲間のさわやかクラブ

社会福祉協議会　高齢者支援部

今年度は、石山東・常盤団地・アートパークタウン・見晴の4町内会のご協力で「ハツラツ介護予防」を開催させていただきました。各町内の福祉推進員や福祉部の方々にお手伝いいただき、多くの皆様が、参加してくださいました。講演では、「認知症予防」や「転倒予防」に関心が高く、熱心に聞いたり、体を動かす軽い体操もあったりして、和やかな雰囲気で行われました。また、体力測定や、骨密度測定等で、今の自分の体力を知り、今後の生活に役立ててもらいたいと思います。元気な毎日を過ごすお手伝いが出来れば…と、思いました。

また、10月には、福祉施設見学会も行い、各町内会から数名づつ参加していただきました。岩見沢の栗沢町にある福祉村などを見学し、有意義な体験をしました。この社会福祉協議会の事業は、赤い羽根共同募金の支援を受けて、活動しています。これからの高齢化社会にむけて、皆様からの募金に感謝し、有効に使わせていただきました。来年度もまた、このような活動を予定していますので、多くの皆様の参加をお願いします。

もりの仲間の子育てサロン

社会福祉協議会　子育て支援部

親子の元気な笑い声が響きます。人生の先輩達の優しいまなざしが子供達に注がれます。平成17年に開設して今年で6年目となります。平成22年度の開催日が決まりました。0歳から就学前のお子様とパパ・ママ！是非おいで下さい。おもちゃ・本、充実しています。開催場所、芸術の森地区福祉のまち推進センター（南老人福祉センター内）。

2月 雪の滑り台で遊ぶ

2月 節分豆まき

3月 ももの節句

平成21年度芸術の森地区　交通安全運動　活動報告　交通安全部

交通安全運動は４月６日に『春の交通安全市民総ぐるみ運動』として、全国で一斉に開始されました。芸術の森地区でも地域の各小学校前で『交通安全指導員』『交通安全母の会』の方々が横断時の注意指導と、新入生に交通安全グッズをプレゼントするなど、交通事故撲滅に向けて活動しました。

期別（春・夏・秋・冬）の交通安全市民総ぐるみ運動計４回をはじめ、交通安全教室等の特別運動などにご協力をいただき、合計640人という多くの方々の参加をいただき誠に有り難うございます。

参考までに以下、交通事故発生状況の表を掲載いたします。

平成２１年度・芸術の森地区

事故発生累計	前年累計	前年比	負傷者数累計	前年累計	前年比	死者累計	前年累計	前年比
25	21	4	36	22	14	0	0	0
歩行者累計	前年累計	前年比	自転車累計	前年累計	前年比	車両累計	前年累計	前年比
0	1	▲1	0	6	▲6	25	14	11

平成２１年度・南区全地区

事故発生累計	前年累計	前年比	負傷者数累計	前年累計	前年比	死者累計	前年累計	前年比
475	486	▲11	608	611	▲3	3	1	2
歩行者累計	前年累計	前年比	自転車累計	前年累計	前年比	車両累計	前年累計	前年比
59	61	▲2	66	84	▲21	353	341	12

平成２２年度交通安全運動が始まります

芸術の森地区会館前広場で《交通事故撲滅運動市民街頭啓発》を行います。

日　時：平成２２年４月９日（金）午前１０時より　セレモニーと街頭啓発
　　参加予定 ７０名～９０名以上　雨天の場合（会館２階会場でセレモニーのみ）

主　催：芸術の森地区交通安全運動推進委員会

共　催：南警察署・札幌市・芸森町内会連合会・小中学校・各関係幼稚園・関係緒団体・各地区老人会・各交通関係団体 他

皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。

まちづくりセンター（地区会館）は地域の皆様のご利用をお待ちしています！

講座・講習会・研修会に
発表会・個展に
お仲間との集まりに
ご葬儀・法要に
その他、いろいろ・・・

会場は５タイプ
人数・目的にあわせて
ご予約ください

現在開講中で新会員募集中の講座

◎大正琴 ◎詩吟 ◎コーラス
◎健康体操　◎転倒防止教室

（曜日、時間、受講料等はお問い合わせ下さい）

利用料は、部屋・時間帯・季節・使用目的によって異なりますのでお問い合わせ下さい。

芸術の森地区まちづくりセンター　石山東７丁目１－３１（小笠原クリニックさん隣）☎５９２－７００９

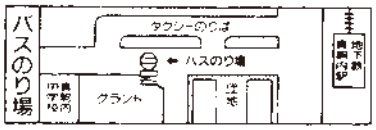
永久に生きる花と緑の明るい聖地

真駒内滝野霊園

札幌市許認可霊園

無料　見学・墓参バス運行中

時間　午前 10:00　午後 12:00　午後 2:00



お問合せ・お申込みは　**真駒内滝野霊園事務所☎(011)592-1223**(代表)

福祉を支える人　山田（やまだ）　誠（まこと）さん

プロフィール

昭和16年、十勝管内浦幌町で出生。帯広農業高校（土木科）卒。会社勤務。昭和46年結婚。二女授かる。現在、夫婦二人の生活。

平成18年、澄川から常盤に移り、第二の人生をスタートさせた。

趣味としている「菜園づくり」のため分譲地２戸分を取得、住宅を新築。トマト、ナス、キュウリ、ハクサイ、ダイコンなど様々な種類のものを作付けた。

ボランティアを始めた動機について「体力の維持と地域への恩返し」と言う。南区社協だよりを見て「ボランティア除雪」に関心を持った。初年度（平成19年度）は一軒。翌々年は二軒担当。「運動不足の解消になっているが、気を使われるので恐縮している」と言う。

会社では、技術部門を長く担当した。最後の５年は、役員職となり会社で計48年間在職。

住宅周辺は真駒内川が流れている河畔林に近く、みどり豊な環境でウォーキングを愉しみ、常盤でパワーアップを目ざす人物。常盤二条1丁目在住。

第38回 南区少年少女親善スポーツ大会

青少年育成委員会

昨年11月15日（日）南区体育館で、南区内小学校の全21チームが中・高学年に分かれ、トーナメント方式によるドッジボール大会が行われました。

芸術の森地区からは、常盤小学校（常盤ＹＥＳ）２チーム、石山東小学校（石山バイソンズ）２チームの計４個チームが参加しました。

今年は新型インフルエンザの影響を受けて練習時間がとれず、ぶっつけ本番のチームもありましたが、石山東バイソンズが準優勝、バイソンズＪｒ．が3位と健闘しました。

他のチームも健闘むなしく第1・2回戦で敗退しましたが、来年に向けての闘志をみなぎらせていました。

選手の皆さん、また指導していただいた監督・コーチの皆さんお疲れ様でした。

交流もちつき大会

青少年育成委員会

昨年12月13日(日)常盤児童会館で、交流もちつき大会を行いました。

子供たちは、餅つき体験で良い経験をし、また美味しいお餅をお雑煮、お汁粉、黄な粉、納豆、おろし大根など好きな食べ方を選び、お代わりをしながら美味しそうに食べていました。なお、連合町内会から差し入れもあり、厚くお礼申し上げます。

また、来年も楽しい時間をすごしに参加してください。お待ちしております。

お手伝いしてくれた子供たち、地域の皆さんどうもありがとうございました。

初心者スキー教室

青少年育成委員会

1月23日、藤野Fu'sスノーエリアで、芸術の森地区青少年育成委員会主催の「初心者スキー教室」を開催しました。

参加者は30名、レベルに応じたグループに分けて、指導員の指導を受け、徐々にうまくなりました。特に、ほとんど滑ることが出来なかったグループの子供たちも、午後にはすっかり上達し、リフトに乗って中級コースを滑れるほどになりました。

また、昼食にはカレーライスが用意され、楽しい1日を過ごしました。来年も予定しておりますので、多数ご参加ください。

お知らせ

3月1日付　正源　直行さん（石山東在住）**が**
青少年育成委員に就任されましたので
お知らせします。

ふれあい行事

芸森連町内では、運動会、文化祭、音楽祭、雪あかりの祭典などのほか、社協、育成委を含む「もりの仲間事業」など、多くの世代間交流事業が行われていますが、各単位（14）町内会では、この種「ふれあい」関連の、どんな事業が企画・実践されているのでしょうか。

日頃、防犯・防災や福祉等の面で「ふれあい」活動の大切さが叫ばれています。地区・地域的特性もあり、必ずしもすべてが参考になるとは限りませんが、自分たちの町内会で行われている関係諸行事を順にご寄稿いただき、他の町内会活動の参考にしていただければ幸いと思い、この欄を企画いたしました。　（編集子）

石山東町内会

私たち石山東町内会の年間行事は、歴史ある「ふるさと祭り、盆おどり大会」をはじめ、各専門部所掌の「餅つき大会」「ボウリング大会」等、大小20余りの行事が計画、消化されていますが、この稿は「ふれあい」関連ということで、「歩こう会」と「あそびの会」の２行事を紹介させていただきます。

★歩こう会（体育部・10月中旬）

昭和51年に、「町内紅葉狩り」としてはじめられ、つぎに「歩け歩け運動」から「歩こう会」と名を変え、目的地もアシリベツの滝（→滝野すずらん公園）の８ｋｍ区間から、参加者の高齢化や児童・幼児の参加を期待するなどして、６ｋｍコース（常盤中学－駒岡保養センター経由）に短縮、現在に至りました。

乳母車で参加する方から80歳代の方まで、その数120名がピークで回を重ね33回、「交通安全」「火の用心」の旗をなびかせ、災害発生時の避難行動を想定した“情報伝達訓練”、経路上のごみ拾いを兼ねるなど伴走車を繰り出しての“目的満載”の行事として行われています。

★あそびの会（福祉部　1月中旬）

平成５年1月15日、町内有志40余名が参集してはじめられた「新春カルタ大会」が前身ですが、正式な町内行事としては、平成10年に福祉推進委員会を発足させ、同活動を整えた平成12年に福祉部だより「ふれあい」発行と同時に、世代間交流事業として「あそびの会」をはじめました。

参加は「小学４・５・６年生（低学年でも可）」から、「中学生以上の町内会の皆様」とし、「お年寄りと子ども達との交流で、冬休みの一日を楽しく」とのキャッチフレーズで、百人一首、コマまわし、お手玉などの室内ゲームで過ごし、賞品も楽しみ、賑やかで年々参加者もふえている催しものです。

お知らせ

芸術の森地区町内会連合会　総会

日時：平成22年4月24日（土）15：00～

場所：芸術の森地区会館　2階会議室

芸森社協 講演会
「孤立死とは」

去る11月25日、芸術の森地区会館において、さっぽろ孤独死ゼロ推進センター事務局長（杉谷　憲昭氏）を招き「孤立死とは」と題する講演会を開催しました。

孤立死とは「一人暮しの方で誰にも看取られず死後１月後に発見された人」をいう言葉だが、一般的には、孤立死・孤独死は同一語に使われ、「一人暮しをされている人が、誰にも看取られず死後発見される人」を指す言葉になっているそうです。講演概要はつぎのとおりですが、「地域のさまざまな関係機関と連携しながら、孤立死を防ぐための見守りを行うことが大切だ」と強調されました。

特に問題になっているのは、マンションに住む高齢者で、隣との交流が無く孤立化している。そこで見守り・安否確認カードなどを作成し、管理組合が対象者を定期的に巡回しながら状況をカードに記入し、万一異常があった場合は報告することが必要である。

近年、急速に進む核家族化、現役を終えて老夫婦だけの世帯となり、やがて配偶者が亡くなり、人生の晩年は「一人暮しがあたりまえの社会」となる。一方、急速な高齢化のもと、国の社会保障制度も施設から在宅中心となり、自宅から通院、または在宅介護へとシフトされている。

高齢化社会に対応するため、地域での見守り・安否確認が今まで以上に求められていて、緊急時の連絡先を書いたカードをペットボトルを利用して、冷蔵庫に置く方式もあるが、一番大事なことは、相手との信頼関係を築く事、そのために日頃から「おはよう、こんにちは」などの挨拶を交わし、声をかけ合い、それが訪問活動の一歩ともなる。

真駒内川改修工事について

着手して６年目となる21年度工事は、昨年７月からⅠ期～Ⅲ期に区分して、予定した22年３月までの工期で石山東公園南側まで進められています。

工事資機材や土砂の搬出入、河床掘削による騒音等、関係地区の皆さんには大変迷惑をかけておりますが、交通事故等にご留意のうえ、もう暫らくの間ご辛抱をお願いいたします。（3月4日現在）

おめでとうございます

○南区クリーン札幌衛生推進協議会会長表彰

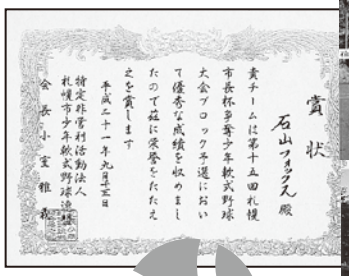
（地区ボランティア功労者）（12月１日）

- 常盤台町内会　**定池　教章　様**
- 常盤二区町内会　**藤澤　昭　様**

○札幌市少年軟式野球連盟会長表彰

（市長杯争奪軟式野球大会成績優勝）（９月13日）

石山フオックス


賞状
石山フオックス殿
貴チームは第十五回札幌市長杯争奪少年軟式野球大会ブロック予選において優秀な成績を収めましたので茲に栄誉をたたえ之を賞します
平成二十一年九月吉日
指定非営利活動法人札幌市少年軟式野球連盟
会長　小宝雅

編集後記

平成20年夏の説明会を手はじめに、１年８ヶ月にわたる勉強会・検討会等を重ねて、この４月からようやく「まちづくりセンターの自主運営」がはじまります。

私たち広報編集委員会（連町・社協・育成委の広報担当者）も一同に会して話し合い、気持ちを新たに「皆様のお役に立つ広報」の発行を誓ったところであります。

22年度もご支援ご協力、よろしくお願いいたします。

広報「芸術の森」編集委員会

委員長	堀川　昭八	委員（監査）	馬場　宏
副委員長	三上　良子	委員	大滝　盛弘
委員（会計）	佐藤　宗昭	〃	火山　正己